

道徳教育全体計画

学校の教育目標

挑戦を楽しむ (Go for it!)

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

生徒の実態	○素朴で素直である。 ○将来の夢や希望を持っている。 ●自らへの自信、自己肯定感、自己効力感が低い。 ●筋道を立てて話すのが苦手である。 ●あいさつ、表現することに対して消極的である。
めざす生徒像	・主体的対話的に深く学び、協働して挑戦できる生徒 ・思いやりと郷土愛をもち、社会・世界に向き合う生徒 ・高い志と意欲をもち、粘り強く、たくましい人生を切り拓いていくための資質・能力を身に付けた生徒 ・郷土上下に誇りを感じ、地域・社会に貢献する生徒
地域の実態	○自然・文化・産業が豊かである。 ○学校教育に関心が高い。 ○高齢者と触れ合う機会が多い。 ●少子化が進み、子どもの数が減少傾向である。

各教科

○国語：言語活動を通して、正確に理解し適切に表現しようとする資質・能力を養う。
○社会：社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察し、主体的に解決しようとする態度を養う。
○数学：数学的活動の楽しさやよさを実感し、生活や学習に生かそうとする態度を養う。
○理科：自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
○音楽：音楽活動の体験を通して、音楽を愛好する心情や感性を育み豊かな情操を培う。
○美術：表現及び鑑賞の活動を通して、美術を愛好する心情や感性を育み豊かな情操を培う。
○保健：生涯にわたって心身の健康の保持増進や豊かなスポーツライフを実現しようとする態度を養う。
○技家：生活と技術についての理解を深め、生活をより工夫しようとする実践的な態度を養う。
○外国語：外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

道徳教育の重点目標

○より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること
○友情の尊さを理解して、よりよい人間関係を深めていこうとする態度を育む。
○地域社会をよりよいものに発展させていこうとする意欲と態度を育む。

特別活動

○学級活動：学級や学校の生活上の諸問題を見出し、自主的に取り上げ、協力して課題解決していく自発的、自治的な活動を通して、よりよい人間関係の形成や生活づくりに参加する態度を養う。
○生徒会活動：全校の生徒が学校におけるよりよい生活を築くために、異年齢の生徒同士で協力し、主体的に組織をつくり、役割分担や計画を立て、話し合い解決しようとする実践的態度の育成を図る。
○学校行事：体育祭や文化祭、修学旅行、また小中高合同清掃活動などを通して、よりよい人間関係の形成や地域を愛し社会の形成に参画するなど自律的態度を養う。

各学年の指導の重点

第1学年	○目標を目指して、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること ○友情の尊さを理解し、互いに励ましあいながら人間関係を築いていくこと ○郷土の伝統と文化を大切にし、先人を尊敬し、郷土を愛する心をもつこと
第2学年	○より高い目標を目指し、希望と勇気を持ちながらねばり強く取り組むこと。 ○心から信頼できる友達をもち、高め合いながら人間関係を深めていこうとすること ○社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって地域を愛する心をもつこと
第3学年	○より高い目標を目指し、困難に屈しないでねばり強く最後までやり抜く強い意志をもつこと ○自己を見つめ、悩みや葛藤も経験しながら、よりよい人間関係を深めていくこと ○地域社会の一員として自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする

総合的な学習の時間

○横断的・総合的な学習を探究的な見方・考え方を働かせ行うことを通して、自己の生き方を考えようとする態度を養う。
○探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、積極的に地域貢献や社会参画しようとする態度を養う。

生徒指導

○共感的な生徒理解を図るとともに、生徒一人一人が目標をもって将来を展望し、自己実現を図ろうとする態度を養う。
○人権意識や感覚を高め、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度の育成を図る。

道徳科の指導方針

生徒一人一人が、道徳的諸価値についての理解に基づき、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としてよりよい生き方についての自覚を深めようとする授業を目指す。
・各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を図った指導方法の工夫
・問題解決的な学習や体験的な活動など指導方法の工夫
・校長の参加、他の教師との協力的な指導
・一人一人のよさを伸ばし成長を促すための評価の充実

豊かな体験

○美化活動や職場体験活動等を通して、道徳的実践を促し積極的に行動しようとする態度を養う。
○地域と連携を図った行事や活動で地域社会の一員としての自覚を育む。

学級経営・教育環境の整備

学級の信頼関係や温かい人間関係を基盤とした集団を育むとともに、道徳的実践意欲を高める環境づくりに努める。
・生徒と教師、生徒同士の心の交流
・教育相談活動の充実
・あいさつ運動の推進
・花いっぱい運動の推進
・校内美化の推進

道徳教育の推進体制

全教師が協力して道徳教育を展開する。
・カリキュラム・マネジメントの充実
・校内研修の充実と活性化
・道徳用教材の整備・充実・活用
・道徳教育の情報提供や情報交換
・上下学園の道徳教育推進教師との連携

家庭・地域等との連携

家庭や地域社会等との共通理解を深め、交流を密にし、協力体制を整える。
・授業参観を開き、「学校だより」などを通して心の教育について交流を図る。
・「学級通信」等で道徳の授業で考えたことなどを紹介し、家庭に広げる。
・地域行事に参加するなど、子どもたちの豊かな心の育成のために相互理解をはかる。
・地域教材を活用する。
・学校運営協議会で、道徳教育の成果を話し合う。